

消防団長紹介

泉大津市消防団 団長 着本 晃司

泉大津市は大阪府の南部に位置し、大阪市内や関西国際空港へのアクセスは、約20分と大変利便性がよく、臨海部からは九州へのフェリーも運航しています。市域面積は、約13.7㎢で人口は約74,000人、地形は市内全域がほぼ平坦で、山は無く、全域が市街化区域となっています。地場産業としては、繊維産業が盛んでニット類をはじめ国内毛布の約90%が生産されており、また、臨海部は特定重要港湾堺泉北港の中核湾として、発展を続けています。

泉大津市消防団は、昭和47年に団員数の減少により一度解散しましたが、平成17年7月に再結成し現在に至ります。第1分団・第2分団・女性分団の3分団で構成し、災害現場での活動や防災訓練、救命講習等への参加も積極的に行っています。

私は、平成17年7月に入団以来、副分団長を務め、平成20年4月からは分団長、平成28年4月からは副団長を歴任し、令和3年4月から団長に任命されました。

消防団活動で記憶に残っている出来事は、平成28年8月に発生した大規模な工場火災が記憶に強く残っています。非常に火勢が強く、消防職員と力を合わせ長時間の消火活動と混雑した道路の交通整理を行ったのが印象的です。

仕事は、アパレル業をしており、趣味は、スポーツ観戦です。

火災や各種災害の発生時に対応できるよう、消防団員が一丸となり、「自分たちの街は自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、消防職員と協力し安全・安心なまちづくりができるよう日々精進してまいりたいと思います。